



**原水爆禁止
あいち
平和行進
2023 5/31-6/11**

2023 年 6 月 7 日 (No.7)

あくるく

発行：あいち平和行進共同連絡会
連絡先：愛知県原水協 TEL:052-932-3219 FAX:052-931-2651
mail: gensuikyo@lime.ocn.ne.jp

最新情報はWebで
あいち平和行進 検索 peacemarch.peace-aichi.net



ツイッター
twitter.com/aichi_P_march

6月6日 まとめ

①瀬戸市役所前河原→共栄通りテア
→尾張旭市中央公民館→大森東島公園
→小幡駅→守山自衛隊前→守山生涯学習センター
②コープ日進店 ③長久手市役所

◆参加者 のべ 364 人 ◆ペナント 約 115 本
◆折り鶴 19,182 羽 ◆募金 116,139 円
◆日本政府に禁止条約への参加を求める署名 32 筆

本日も自治体から歓迎のメッセージ

瀬戸・尾張旭
日進・長久手

●瀬戸市

◆参加者 のべ 80 人 ◆折鶴 3,032 羽
◆ペナント 40 本 ◆募金 29,907 円

セレモニーは 10 時開催。呼び込み太鼓、新婦人どんまい鼓を 5 人のメンバーで演奏。県共同連絡会の挨拶は、原水協の佐竹さん。通過した自治体の温かい歓迎、とりわけ蒲郡市役所では昨年 9 月に非核を入れた宣言をあげたことが行政からうれしく報告がされたことを紹介。G7 広島サミットでの岸田発言の真意は、「核抑止」にこれからもずっとあり続けるとの決意、被爆者からは騙されたとの怒りの声などと発言しました。瀬戸市長と議長の連名メッセージを行政から紹介。自治体要請は実行委員長の土屋さんから報告がありました。地元挨拶として、被爆二世の太田千恵子さんの言葉を山本さんが代読。全国通し・県内通しの紹介、通し行進者へのプレゼント（ひまわり・陶器のブローチ）がされました。3,032 羽の折鶴とペナント 40 本が行進者に贈呈されました。署名の贈呈は、毎月 200 筆以上を集め続ける竹元稔郎さんの声を田中詔子が紹介しました。集会の圧巻は、新人を含めた 5 人のコープあいちの職員の参加。そして、共産党の議員 3 人に加えて、2 人の公明党の議員が参加していただきました。

田中詔子：竹本さんは長崎の被爆二世で、瀬戸反核センターの事務局長。300 筆以上の署名を持ってきました。今日も私たちが集合する前に来て、出会う人、出会う人に署名をお願いします。毎月 200 筆の署名を集めます。どれくらいの確率で署名が集まるかと聞くと 5 人に 1 人。つまり 1 年間で声をかけた人は 1 万人。竹本さんは反核センターの宝、日本、世界の宝だと思います。

竹本稔郎：署名してくれる人の熱い思い。一日も早く核兵器をなくさないといいない。皆さん一緒に頑張きましょう。





●尾張旭市

尾張旭

◆参加者 のべ 110 人 ◆折鶴 7,500 羽
◆ペナント 30 本 ◆募金 38,232 円
◆日本政府に禁止条約への参加を求める署名 18 筆

尾張旭では午前中、2 コースでお散歩行進をしました。午後の昼食会場には 110 名が参加。集会では、今年市長が変わり、「皆様方の活動が、核兵器のない世界の実現にむけて、確実に前進していくことを心から願っています」とメッセージを寄せていただき、健康福祉課長が代読されました。また、初めて被爆二世の方が参加され、「原爆で喉がやけて水も飲めず亡くなっていく遺体を船に積んで海に流した」とお父様の被爆体験を語られました。その方は、守山の終結地点まで歩かれたようです。

瀬戸からの行進団の到着から、守山へ出発するまでの時間が 40 分しかないなかで、昼食、年金者の会の 20 名が参加してのうた、初めて市へ連鶴の贈呈、折り鶴やペナントの手渡し、行進団の紹介も滞りなく行われ、無事、午後 1 時には守山に向けて出発しました。



行進では、雨の中を元気にコールしながら歩きました。事前に署名や募金のお願い文も沿道に配っていたので、道路の反対側も注意しながら歩きました。たくさんの方が参加されて、今年も平和行進で核兵器のない、平和な世界への思いが共有できて良かったです。



●守山区

守山

◆参加者 のべ 85 人 ◆折鶴 6,650 羽
◆ペナント 42 本 ◆募金 13,000 円
◆日本政府に禁止条約への参加を求める署名 8 筆

地元の被爆者、愛友会の金本理事長が挨拶。「こんなに平和を求めて頑張っている人たちがいるのに、岸田首相はどこを見ているのか。広島出身が恥ずかしい」と怒り心頭。でも、若い人が頑張っているのもわかるので「声を大にして日本政府に訴えていくしかない」

守山区表敬訪問の報告を、日本共産党のくれまつさん。総務課長、庶務係長が対応。懇談は和やかに行われ、それぞれがポケットマネーでペナントを購入してくれました。

県内通し行進者紹介。また、コープの若者 5 人が揃いの緑のシャツを来て参加。「貴重な機会だった」「平和行進を知らなかったけど、これを機に考えていきたい」

と口々に感想を話しました。

わかやま市民生協の森さんも「先輩のみなさんが繋いできた行進、岐阜へ繋げるまでがんばる」。実行委員会を代表して矢野さんが挨拶。まずは日進、長久手コースの報告。「憲法破壊の軍拡が進んでいる。憲法守れの声を広げること。平和行進によって情勢が動いている」と報告しました。

最後は全国通し行進者の村上さん。「若い人たちと一緒に取り組めた。岸田首相の G 7 には怒り心頭、この怒りを世界大会に。みなさんと出会うことで力をもらっています。元気で歩き通したい」と語りました。

●日進市

日進

◆参加者 のべ 30 人

コープ日進店で集会を開催。

長崎の被爆者である、横山さんは初めての参加。被爆者で、当時 9 ヶ月だった横山さん。母親が救援活動のために入市した当時の被爆体験を語りました。被爆二世の方は、核抑止を肯定するサミット G7 各国を厳しく批判しました。議会からは、舟橋さん、共産党の五島さん、坂林さんから、市議会で禁止条約の意見書決議採択への努力を力強く報告しました。

歌声による合唱の後、お散歩行進を行い、駅前の方核宣言モニュメント前で集合写真を撮影して終了しました。



●長久手市

長久手

◆参加者 のべ 29 人 ◆折鶴 2,000 羽
◆ペナント 3 本 ◆募金 35,000 円
◆日本政府に禁止条約への参加を求める署名 6 筆

長久手市では、駅前に集まってスタンディングで市民にアピール。またうたごえの藤村さんリードのもと、平和の歌を参加者で合唱します。

その後、雨が降る中、長久手市役所に向けて元気にお散歩平和行進をスタート。

市役所では担当課職員がお出迎え。非核平和宣言の垂れ幕の下で集合写真を撮影し、庁舎の会議室でまとめの集会を開催しました。担当課から「世界では紛争が続いており、平和活動の重要性は一層増しています」と市長メッセージが紹介されました。戦争体験者であり、市の平和事業推進委員会の副委員長である松原さんは、父親がシベリア



で戦死したことなど自身の戦争体験をお話し、「今の軍拡政治を何としても変えないといけない」と語ります。行進の責任者である藤田さんは、核兵器禁止条約に批准を日本政府に求めることについて議会意見書採択を求める陳情活動を 9 月に行う事を紹介。「ねばり強く、草の根の活動を行っていきましょ」と呼びかけまとめとしました。

6/7 のコース

8:20 (集会) 10:15 (集会) 12:00 (昼食・集会)
津島市役所→愛西佐織公民館→稲沢市平和支
13:50 15:00 (集会) 17:00 (集会)
所→井堀公民館→稲沢市役所→稲沢駅0-列-
14:00 (表敬訪問) 15:00 (表敬訪問) 16:00 (表敬訪問)
蟹江町役場→弥富市役所→飛島村役場